

# いわきで先進地視察

## 最新ペレット工場など

関東木材資源リサイ製造を想定している。

本施設ではボイラーに

熱電併給ユニットとし

てORCを接続し、そ

こからの熱と電気を利

用してペレット製造を

行う。

原料となる森林未利

用材をチップ化、金属

探知機を経て一次細粒

チップを

通過後、

ステラ社

製のペル

トドライ

ヤにより

乾燥され

る。ペル

トドライ

ヤは低温

(90度C

前後)で

の乾燥を

行うこと

で、火災

の危険性

ペレット工場について説明を聞く



いことが知られてい  
る。その後ムービンク  
フロアでの養生を経て  
二次破碎、水分調整を  
経てCPM社のペレッ  
トミルで製造される。  
使用されている機器や  
導入されているシステ  
ムは欧州のペレット製  
造システムと同等のも  
ので、高品質のペレッ  
トを高効率に大量に製  
造できる。同社では火  
力発電所への納入を中  
心に予定している他、  
さらに県内に建設を予  
定しているペレットを  
利用している熱電併給  
装置へも納入する予定  
だ。中野社長は「現在、  
欧州の高品質の木質ペ  
レットと同等クラスの  
ものの生産が可能にな  
ってきている」と話し  
た。

その後、いわき大王  
製紙の工場見学も行  
い、帰途に着いた。

遠野興産は今年6月  
にペレット工場を新  
設。欧州の最新施設と  
同等の設備を備え、年  
間約3万トンのペレット  
が参加した。



藤枝慎治会長